

2017年度 第3回OP協会理事会議事録

日本 OP 第 5-17-10 号

日時 : 平成 29 年 5 月 15 日 (土) 10:30~17:00

場所 : フォーシーズ会議室

参加者 : 濱本理事長、矢野副会長、花田副理事長、高山副理事長、檜皮監事、秋山監事、
青野理事、中村理事、山田理事、服部理事、岡田理事、西村理事、松尾理事、
須河内 (順不同)

欠席者 : 荒川理事

議事録作成 : 須河内 確認者 : 中村理事 (東日本)、松尾理事 (西日本)

審議事項

議題 1 総務委員会

(1) 会員登録状況についての報告

2017 年会員登録継続手続きは 5 月末締切で受付中だが昨年度実績 (42 クラブ、361 名) に比べ減少の可能性あり。要注視。

(2) 新規加盟クラブの報告

石垣ジュニアヨットクラブ、大阪ジュニアヨットクラブ (承認済み)

(3) 2018 年 8 月のアジアオリンピック (インドネシア) の情報共有

派遣の打診があった場合には 2017 年全日本選手権の成績にて上位者を選考することが承認された。

(4) 全日本選手権の持ち回りカップについて

老朽化のため新調の提案があり、50 周年に合わせて予算計上し準備することが承認された。(今後の担当 : レース委員会)

(5) JODA 賞状台紙の枯渇の件

全日本、東西選手権で使用してきた専用台紙が今年でなくなる。

追加発注 (1,000 枚単位) はせず、今後は電子データを作成して大会会場で使用する。その際、色、紙厚、サイズは統一する。(電子データ作成 : 担当松尾理事)

(6) JJYU 大会への顧問打診回答の件

JJYU 国際交流日本ジュニアヨットクラブ競技会への後援依頼 (大会顧問に浅野会長を) について報告があり、協議の上で承認された。

(7) ボートショーでの OP 展示報告

ボートショー時に JSAF ブースにて OP 実物、JODA 活動、各水域のクラブの紹介が行われた件の報告が行われた。JODA として大変ありがたいことで、今後も普及活動の点でも JSAF と協力していこう、との方針が確認された。

(8) 会計報告

現時点での会計に関する報告があり、問題なきことが確認された。

(9) その他

50周年準備委員会の作業進捗状況について報告と質疑が行われた。

議題2 レース委員会

(1) 2018 JODA ナショナルチーム最終選考会 開催地

応募なく、レース委員会より打診を行い、大分県別府市で開催することに決定した。

(2) チームレース日程の報告（クリニック、全日本選手権）

・チームレースクリニック

6月24～25日 広島

7月1～2日 江の島（藤沢市青少年セーリングクラブ）

・第33回全日本OP級チームレース

9月16～18日 広島

(3) 第49回全日本大会枠申請状況および有資格者最新情報の報告

(4) 東西選手権の開催地について

2017年の東西選手権は、開催地の事情（他クラスの大きな大会）より時期・場所が例年より変更となった。選手にとっては定例の時期・場所で開催される意味は大きく、2018年以降の東西選手権の開催地について理事会にて協議し、以下の海面での開催に向け各種調整していくことを決定した。

また、東日本選手権については多数の参加がある場合には全日本選手権同様にゴールド・シルバー方式で行う（2017年度より）

	場所	備考
東日本選手権	打診中	2018～2020（五輪終了後は葉山）
西日本選手権	広島	2018～数年
大会の時期	両大会とも同日程（8月下旬）を基本とする	

議題3 強化・海外派遣委員会

(1) GWに行われたナショナルチーム合宿の報告

合宿メニューおよび父兄との意見交換会がつつがなく行われた。意見交換会では幅広い内容で様々な意見質問が出された。

例) 普及・強化策としてOP出身の大学生を出前コーチとして地方クラブに紹介する等。理事会では貴重なご意見は今後検討していくとともに、JODAの考え方をもっと広く知ってもらう手法を考えよう、との方針を確認した。

(2) IODA 総会（世界選手権の際に実施）への参加者

近年は渡航費の事情もあり、派遣チームの父兄に国代表として参加して頂いていたが、
本年はワールドチームとは別に JODA 花田副理事長に総会へ送り出すことを決定した。

次回理事会を平成 29 年 9 月 24 日予定とした。

以 上

議事録確認理事 東日本水域 中村理事
西日本水域 松尾理事